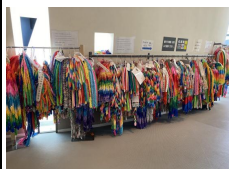


『日に新たに』

令和8年度 校長室便り
(7月28日)(第9号)

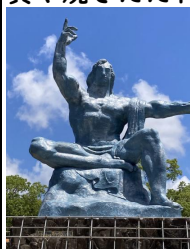


「Seeing is Believing.」



私は長崎総合科学大学との高大連携包括協定の締結式に出席するために、20数年ぶりに長崎を訪問しました。せっかくの機会なので、長崎原爆資料館と平和公園も訪問しました。日本人よりも外国人観光客の方が多かった気がします。

原子爆弾が投下された時刻で止まったままの時計やグニャグニャに曲がった鉄柱、壁に人影のみ写った写真や焼きただれた大勢の人々の写真を目に焼き付けておこうと思いました。そうでもない



と、これは遠い昔に起こったことで自分には関係ないことだといふ考えでしまうからです。

平和公園では、8月9日に向けて会場設営が始まっており、平和祈念像もお色直しの工事中でした。静かに手を合わせて公園を後にしました。

「長崎総合科学大学訪問」並びに「高大連携包括協定締結」



7月23日(木) 田方先生に引率をお願いし、生徒8名が長崎総合科学大学を訪問しました。目的は、本校と長崎総合科学大学との「高大連携包括協定締結式」への出席と大学の施設見学、大学生とのワークショップへの参加でした。費用のほとんどを、垂水市の「垂水高校振興支援対策事業費」から支給していただきました。本当にありがたいことです。

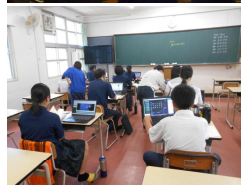


今回の締結は、昨年度から講演をお願いしている長崎総合科学大学学長補佐である栗田るみ子教授(垂水市出身で垂水高校の卒業生)のご尽力のおかげで、実現しました。これから授業等を通して、大学の先生方や学生から専門的な知見や助言をいただけることになります。

訪問中、3年生の山田さんと益山さんが、「総合的な探究の時間」で自分たちが探究したいと考えている「垂水市の水」に関するテーマについてプレゼンをし、学生や大学の先生方からご意見をいただきました。

施設も案内していただき、造船の技術や半導体に関する研究について、学生や先生方から講義を受けました。短い時間ではありましたが、大学での学びを体感でき、今後の自分の進路を考えるよい機会になったのではないのでしょうか。参加した生徒の感想は広報誌「TaruTama」等で紹介する予定です。

「東進ハイスクール 松下さんの講話」



7月21日(火) 夏課外の初日に、1年生全員と東進通信講座を受講する2・3年生に向けて、株式会社ナガセ・東進ハイスクール・東進衛星予備校の松下安典氏に講話をしていただきました。本校は垂水市の「セブンサポート」と垂水市出身で株式会社ナガセの永瀬会長のご厚意で、安価で東進通信講座を希望する生徒が受講できています。これも本当にありがたいことです。

松下さんには、昨年度も来校していただきましたので、覚えている2・3年生も多かったのではないのでしょうか。「夢は大きく志は高く」というテーマで、今年の夏で「いつもの自分よりも背伸びした選択・行動を心がけよう」「マイナスな言葉を口にしないようにしよう」「一生懸命頑張ることでお互いに良い影響を与え合える仲間になろう」というメッセージをいただきました。

自分の人生をどう生きるのか、いつもより時間の取れるこの夏休みでじっくり考えてみるのもいいですね。「夢ある者に成功あり(松下さんより)」。

「検定試験に向けた調理練習」



夏季課外を利用して生活デザイン科の2年生は、検定試験に向けて調理の練習に取り組んでいます。

7月22日(水) 調理室を覗いてみました。よい香りがして生徒それぞれが黙々と調理に取り組んでいました。先生方によると、自分で具材の量を測って準備して調理し、洗って片付けるまでの制限時間が決まっているそうです。エプロンを着て手際よく調理している姿は、本当に「カッコよく」見えました。私にはできないことなので尊敬しますし、料理で人を幸せにできるなんて本当に素敵なことだと思います。合格を目指してぜひ頑張ってください。

「スマホ教室」



7月22日(水) 14時から垂水市市民館にて、垂水市主催の65歳以上の方対象の「スマホ教室」が行われ、9名の生徒がボランティアとして参加してくれました。ひと組を除いて参加者1名につき生徒2名が対応し、参加者から前もって提出された質問に熱心に答えていました。「機種を換えてから操作が分からない」とか、「変更の手続きをするにも鹿屋まで行かないといけない」という声を聞いて、切実な問題だなと感じました。一つ一つの質問に高校生が丁寧に答えてくれるので、参加者も満足されている様子でした。

今回は、先着5名の参加者枠でしたが、申込みは10名を超えていたそうです。ボランティアの高校生が増えると募集枠も広げられるようです。